



養老郡養老町 PTA連合会たより

創刊号

令和 3年 7月 16日

発行：養老町役場生涯学習課
編集：郡広報担当 日吉小
総児童数 2,012名 6月26日現在



～令和3年度養老郡町PTA連合会活動方針～
生き抜くたくましさを身に付けた子どもの育成を目指し、
家庭・学校・地域の連携を深めるPTA活動



養老小会場と役場会場の様子

令和3年度養老郡養老町PTA連合会「研究大会」

Z o o mによるオンライン開催にチャレンジ！

令和3年6月26日（土）13：30から、「養老郡養老町PTA連合会研究大会」がオンラインで行われました。昨年度は、新型コロナにより休校措置もあったため、開催することができませんでした。今年度は、どのような形でも実施する決意で準備してきました。

オンライン開催は初の試みだったので不安な点もありましたが、ICTを活用する「よい機会」と捉え、チャレンジしました。養老町内の小・中学校PTA会員のみなさんは、各校もしくは役場で参加し、約**100名**が研修しました。

笠郷小PTA・日吉小PTAによる実践発表、日高庸晴氏（宝塚大学看護学部教授）による「LGBTs」の講演、講演後の意見交流等、充実した研究大会になりました。

養老郡PTA連合会長 田中 正豊（高田中PTA）

今年度の養老町PTA連合会の活動方針は、県の方針と重点を踏まえ、「生き抜くたくましさを身に付けた子どもの育成を目指し、家庭・学校・地域の連携を深めるPTA活動」とさせていただいております。私たちPTAは、子どもたちが将来、家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築いていくための「生き抜く力」を身につけた人間に育てたいという共通の願いを持っております。コロナ禍により、GIGAスクール構想は一気に加速し、インターネットや携帯端末など、一人1台が当たり前の社会となってきました。簡単に外の世界とつながることができる便利な世の中だからこそ、目を合わせ声に出して感情を伝える「生きた会話」とのバランスをとりながら、人間関係の重要な礎を築かせたいと私たちは思っております。学校と家庭が協力し合い、各校のPTA活動をバックアップしていけるよう進めてまいります。

- 古川 貴之さん(養老小PTA)
- 伊藤万希枝さん(養老小PTA)
- 矢野裕一郎さん(広幡小PTA)
- 寺倉 宏行さん(上多度小PTA)
- 堀田 裕之さん(笠郷小PTA)

- 無藤 泰広さん(養北小PTA)
- 無藤 好則さん(養北小PTA)
- 長沢 律秋さん(日吉小PTA)
- 青木 香織さん(高田中PTA)

お世話になりました。お疲れ様でした！

2校の発表は、西濃PTA連合会HPや岐阜県PTA連合会HPに秋ごろ掲載する予定で進めております。そちらも併せてご覧ください。

日吉小PTA実践発表

「みんなで参加し、心豊かで明るく、礼儀正しい元気な子どもに育てよう」というスローガンのもと、「ほほえみ」「まなび」「ふるさと」を大きな柱に、実践を発表して頂きました。「子どもたちのために」を合言葉に学校と地域が支え合いながら子どもを育てていることがどの事例からも伝わってきました。地域の指導者に親子で教わるCSフェスタは「うちの学校ならこんなことができるかな」と参考になりました。

具体的な活動

・ふるさと ○親子で行事に参加する。
CSフェスタ 家族(3世代)や地域の方と活動を通して楽しく学び、健康や安全について関心を高める



笠郷小PTA実践発表

コロナ禍の活動を、分かりやすく発表して頂きました。また、少子化による児童数の減少課題に目を向け、これまでのPTA活動で大事にしなくてはいけないことと、スリム化していける内容について何度も議論を繰り返し、地域やOBとの連携をとりながら進めていることも分かりました。「誰もがなって 誰でもできるPTA」を目指し、取り組まれていることがよく分かる実践でした。



日高講師による「LGBTs」研修

講演会では、「LGBTs」について研修しました。学級に1人~2人は自分の性について悩む児童生徒がいることが、数値で示されました。「性」について悩んでいても、相談できないケースが多く、家族には一番打ち明けにくいことを教えていただきました。

TVや日常会話のちょっとした意識変革によって、性に悩む子どもたちが救われるそうです。各会場とも参加者は「学校、家庭、地域」と、それぞれの立場を思い描きながら熱心に聞き入っていました。

★子どもの“人生を変える”先生の言葉があります2021

★わが子の声を受け止めて～性的マイノリティの子をもつ父母の手記～

<https://health-issue.jp/>



日高 庸晴 (ひだかやすはる)

宝塚大学看護学部 教授。京都大学大学院医学研究科で博士号取得。文部科学省が2016年4月に発表した性的指向と性自認に関する教職員向け資料の作成協力、文部科学省や法務省の人権啓発など国や自治体の事業に従事。LGBTsを対象にした調査研究では国内最大規模の調査を継続的に実施している。



「LGBTs」に関する意見集

- ・「一人一人を大切にする」と言われている中で、LGBTsについて正しい理解をすることが必要だと感じた。その子その子を見ること、受け止めることを大切にしていきたい。
- ・学校の授業で取り扱っていただけよう、全ての先生方にも聞いていただきたい内容でした。

- ・当たり前な事をすべて正しいと思い、そうでないことは、「悪」であるかのような態度を示したり、言葉を発したりすることがある。まずは知ること、理解すること、広めることの地道な積み重ねが必要だと感じた。
- ・学校だけでなく、家庭や地域、社会全体で考えていく内容である。

- ・今までLGBTsのことを目にする機会があっても、関係ないからと深く知ろうとしていませんでした。話を聞いて、LGBTsの人が多く、その人たちが周りの目にとっても苦しんでいることを知り驚きました。当事者やその家族にならずとも、無知では差別的な考えは減りません。多くの人を知ること、家族で話題にする機会を考えたいと思いました。

- ・自分自身の発する言葉にも、より気をつけたいと感じました。
- ・「みんな違ってみんないい」改めてこのフレーズが湧きあがってきました。違う考えを発言できる環境、それを聞き入れる環境づくりを大切にしたい。

今回、オンライン開催を行うにあたり、郡町PTA連合会はWEBカメラとスピーカーフォンを各校に購入しました。将来を担う子どもたちが、ICTを積極的に使いこなしていくことも念頭に置いての購入です。



養老郡養老町「家族の絆 愛の詩」PTA賞 表彰

おめでとうございます！

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 最優秀賞：石原 蘭さん(池辺小PTA) | 佳作：市川ゆりかさん(笠郷小PTA) |
| 優秀賞：鈴木美穂さん(日吉小PTA) | 佳作：長堀さやかさん(養老小PTA) |
| 優秀賞：近澤恵子さん(養老小PTA) | 佳作：高田 麻記さん(高田中PTA) |

今年度もたくさんの募集しております。ご応募お待ちしております！！

～養老郡PTA連合研究大会を終えて～

養老郡PTA連合会母親代表
西尾朋子(高田中PTA)

今回の研究大会では、オンライン開催ということもあり、コロナ禍であること、初の試みであることから、事前に参加者を限定しました。来年度以降は、より多くの会員が参加できるように、研究大会の様子を後日配信するなど、検討したいと思っています。子どもにとっては、かけがえのない一年一年です。コロナ禍だからと「できない」選択をするのではなく、どうやったらできるかを模索することが、大事だと思います。田中PTA連合会長の「生き抜く力・・・」は家庭と地域と学校の連携なくして育ちません。PTAと学校とが力を合わせれば、未来の子ども達の確かな成長につながると信じています。本日は誠にありがとうございました。

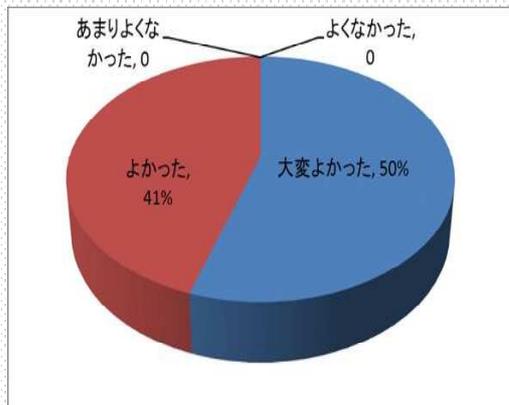
研究大会アンケート集計結果

1. 所属するPTAはどこですか。

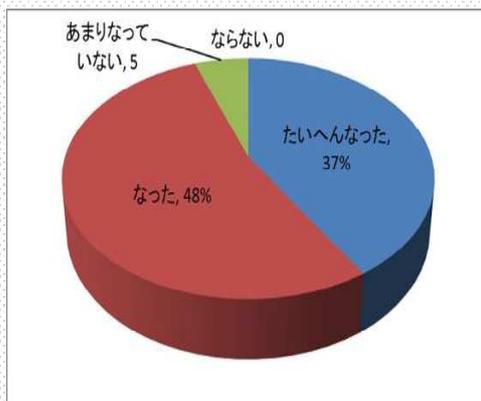
*回収結果より

養老小	広幡小	上多度小	池辺小	笠郷小	養北小	日吉小	高田中	東部中	その他
11	6	12	4	14	11	7	13	6	5

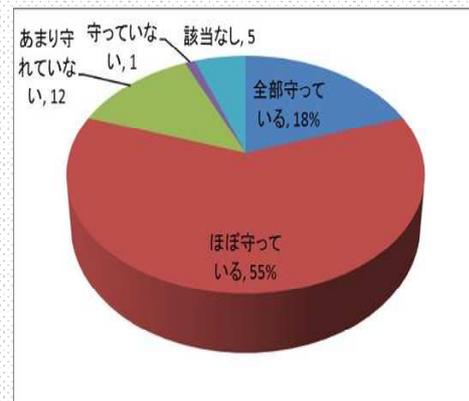
2. 本日の研修会に参加してよかったですか。



3. 本日の研修会を受けて、家庭で何か取り組む気持ちになりましたか。



4. 「養老町情報モラルスマイル宣言」を守っていますか。



5. 本日の研修会の感想や要望(抜粋)

開催方法を工夫し、段階を経て大会に臨めたのがよかった。画像・音声等、安定しており、たいへん聞きやすかったです。機材等も揃えていただいたので、有効活用していきたいです。

各校とも、コロナ禍でもできる活動を考え、実践していたので、参考にしたい。PTA会員の減少等、本部役員は「大変だ」「面倒だ」というイメージを変えていくことが大事だと感じました。

このような研修会にPTA本部や役員が参加することに疑問を持っていました。今回、オンライン開催となり、今後も新しい方向性を探っていければと思います。多くの方が都合のよい時間に受けられることも、できそうだと感じました。

研修会というと硬い感じがして身構えますが、実際参加してみたら、いつもの役員会の雰囲気に参加しやすかったです。こういう機会がなければ自主的にはなかなか学ばないと思うので、参加してよかったです。